



TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュースレター

Today's news Flash



会期前実施競技終了

9月7日から開始された会期前実施競技は、15日に行われたクレー射撃競技、新体操競技を最後に終了した。シンクロナイズドスイミングの21年ぶり5位入賞（12点獲得）や、競泳の昨年を上回る活躍（92.5点獲得）により、1月から2月にかけて行われた冬季競技の好調さをそのまま引き継いだ。福岡県は、284.5点を獲得し10位に位置している。上位9県の中には、冬季競技で大量得点している北海道・長野・群馬が含まれており、10位は好位置と考えられる。

先行して戦い成果を残した選手達の思いは、9月22日に実施される結団式に集結する本国体福岡県選手団に継承される。

Result



現地でのコンディショニングに苦戦

～ 新体操競技・クレー射撃競技 ～

【新体操】現地入りした際に、選手の一人が発熱し、選手変更を余儀なくされるアクシデントが発生した。翌日行われた団体戦では、選手の頑張りによりミスなく演技できたが、個人戦の結果が影響し、本来の力を出すことができなかった。

【クレー射撃】1回の競技時間は短いものの、5日間かけて4ラウンドの射撃を行うため、待ち時間や連日のホテル宿泊の中で、身体面・メンタル面のコンディション調整が難しく、今大会では、思うように実力を発揮できなかった。

今回の悔しさを糧に、来年度の活躍に期待したい。

また、これから現地入りする選手団は、コンディショニングに対する十分な配慮を行う必要がある。



Topics



競泳陣の活躍の裏側

福岡県競泳チームは、目標に掲げた90得点を見事に達成し、92.5点を獲得した。その背景には、チーム意識の強さがあり、指導スタッフの細やかな戦略があった。強化合宿では、極力日程を合わせ少年・成年がコミュニケーションを取れる環境を作り、核となるトップ選手の出場を計画、現地に「福岡」の文字を書いた生地を持ち込み、選手が今大会の目標や思いを書き込み、控室に掲げる等、選手のモチベーションを高める配慮が至るところでなされていた。会場での盛り上がりを見せる応援や、優勝した選手のコメントに必ず入る「応援してくれる福岡県チームの皆さんのおかげ」という言葉が、その成果を物語っている。

こうした取り組みは、遠征先でのコンディショニングにも大きく影響していると考えられる。

